

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成26年度技術情報第2号（サトウキビのカンシャコバネナガカメムシ）
について

このことについて、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成26年度技術情報第2号
（サトウキビのカンシャコバネナガカメムシ）

種子島における本年の発生時期は平年に比べて遅く、第1世代幼虫の防除適期は以下の
とおりと予想されるので、防除時期を失しないように注意する。

- 1 対象病害虫 カンシャコバネナガカメムシ
2 対象作物 サトウキビ
3 情報の内容
（1）発生地域 種子島地域
（2）発生時期 遅い
（3）発生量 多
（4）防除適期 5月31日～6月15日

- 4 情報の根拠
（1）本年の平均齢期は平年に比べて遅く、1茎当たり虫数は多い（表1）。
（2）九州南部の向こう1か月の平均気温は、平年並みか高いと予報されている。

表1 種子島における幼虫発育推定および発生調査結果

調査場所	年次	有効積算温量による発育推定		発生調査結果		
		2齢期到達日 (450日度)	3齢期到達日 (600日度)	調査 月日	平均 齢期	1茎当たり 虫数
中種子町全域	H26	5月30日	6月12日	5月22日	1.26	58.8
	H25	5月27日	6月10日	5月22日	1.69	30.8
	H24	5月31日	6月13日	5月23日	1.68	37.7
	H23	6月5日	6月20日	6月1日	1.53	39.5
	H22	5月25日	6月9日	5月21日	1.71	23.4
	H21	5月26日	6月11日	5月22日	1.83	26.9
	H20	6月2日	6月17日	5月22日	1.17	48.0
	H19	5月31日	6月16日	5月24日	1.64	22.8
	H18	5月31日	6月15日	5月25日	1.41	27.6
	H17	5月31日	6月15日	5月23日	1.44	19.5
	H16	5月28日	6月12日	5月20日	1.59	28.6
	平年	—	—	—	1.57	30.5

注) 有効積算温量算出に利用した平均気温は、種子島薬用植物資源研究センターのデータ。
発育零点は13℃、起算日は2月1日とした。
発生調査結果の平年は、平成16～25年の平均。

- 5 防除上注意すべき事項
（1）幼虫が2～3齢の時期に、薬剤が芯葉によくかかるように散布する。
（2）発生が多いほ場では、1週間おきに2回防除する。
（3）防除薬剤については、地区防除暦または農薬使用の手引きを参照する。
（4）農薬の使用に当たっては、使用基準を遵守するとともに飛散しないよう十分注意する。